

平成22年度

さぬき・東かがわ支部 メディア教育研究部会

1 研究主題

「主体的に学び、生きる力をはぐくむ、
メディア教育のあり方」

2 研究主題のねらい

コンピュータや携帯電話などの情報機器やインターネットなどネットワーク環境の普及により、私たちは、生活をより豊かにすることができるようになった。学校教育においては、これらの環境を授業で活用することにより、より豊かな学びの場を提供することが可能であると考ええる。

また、放送のデジタル化やコンピュータの高性能化により、私たちは様々なメディアを容易に扱うことができるようになった。それら情報機器の持つ特性を最大限引き出し活用すれば、より効果的な学習指導ができると考える。

そこで、本部会では、授業で活用するために、電子黒板やメディアサーバーなどの最新機器について操作したり、パソコンを使って、身近にある映像素材から教材を作成したりする実践的な研修会を企画した。

3 研究計画

(1) 第1回研修会

- ① 日時：4月30日
- ② 場所：津田中学校
- ③ 内容：研究主題・組織・計画の決定
 - ア 実技研修会について
 - イ 実践発表について
 - ウ 校内LAN共通仕様について

(2) 第2回研修会

- ① 日時：7月28日 8:15～10:10
- ② 場所：志度東中学校
- ③ 内容：実技講習会
 - ア 電子黒板
 - イ メディアサーバーなど

(3) 第3回研修会

- ① 日時：10月14日 14:00～16:30
- ② 場所：e-とぴあ・かがわ
- ③ 内容：実技講習会及び研究協議会
 - ア ムービーメーカー
 - イ DVD メーカー
 - ウ 各学校の課題について

4 実践内容

(1) 第2回研修会

- ① 研修テーマ
「電子黒板・メディアサーバーの活用」
- ② 研修の内容
 - ア 実技講習（電子黒板）

昨年度、各学校に導入された電子黒板の使用法や授業での活用について実技研修を行った。市によって電子黒板の仕様が異なるものの、専用ペンの使い方や画面の切り替え方、写真の提示方法など、実際に部会員が操作しながら、研修を深めることができた。また、すでに使用している学校から活用事例の発表もあった。



- イ 実技講習（メディアサーバー）
さぬき市の各学校に導入されているメディ

アサーバーやブルーレイディスクプレイヤーの利用について、実技研修を行った。メディアサーバーは LAN 接続されたハードディスクで、動画や音楽などのデータ等を LAN 接続されたコンピュータや対応テレビなどで視聴できる機器である。校内のメディアセンターとしての活用が期待されている。また、ブルーレイディスクプレイヤーにはインターネットに接続することで、単体で動画サイトが視聴できる機能もあり、操作方法について研修した。

(2) 第3回研修会

① 研修テーマ

「映像編集ソフトの利用と情報交換」

② 研修の内容

昨年度と同様に、施設や講師の充実した e-とびあ・かがわの研修施設を利用し、映像編集ソフトウェア「Windows ムービーメーカー」と DVD オーサリングソフトウェアの「Windows DVD メーカー」について実技研修を行った。映像の取り込み方や加工・編集、テロップの挿入など基本操作について、一通りの研修を受けた後、自由に操作したり質問したりする時間を設け、更に研修を深めることができた。最後に編集した映像を DVD に記録し、DVD プレイヤーで再生できるディスクを作成した。



③ 情報交換

各校のメディア教育の取り組みについて、情報交換を行った。第2回の研修後に電子黒板を活用した学校の実践や本年度導入された

パソコン教室のソフトウェア、教師用ネットワークのセキュリティについて情報交換を行った。

5 反省と今後の課題

(1) 今年度の研修について

① 本年度は新たに学校現場に導入された機器について、実技研修を中心に取り組んだ。電子黒板やネットワーク対応ハードディスク、ブルーレイディスクプレイヤーについて、実際に操作しながら研修したことで、これらの機器を活用した新たな学習指導について考えることができた。この研修を生かして、今後各校での活用を期待したい。

② 10月には昨年度に引き続き、e-とびあ・かがわにて研修をおこなった。今回は動画編集ソフトや作成した動画を DVD に記録するソフトの使い方について、講師の指導を受けながら操作技術を高めることができた。情報交換では、本年度導入されたネットワークの仕様について共通理解をしたり、個人情報の取り扱いについて情報交換をしたりできたのも意義深かった。

(2) 来年度に向けて

① 昨年度、各学校に導入された電子黒板や放送機器について、活用方法を研究する良い機会となった。しかし、学校によって仕様の差があったり、機器の設置場所が異なったりする実情が分かった。そのため、各学校で機器の実技研修や、各教科での活用について研究を進めていく必要がある。

② 地デジ化に伴い、地デジ対応デジタル機器を活用することで、授業等で放送番組が利用し易くなる。これらのメディアを活用する際に考えなければならない著作権等についても、これから研修を深めていきたい。

③ インターネットや携帯電話などの情報機器の安全な利用についてはこれまで通り、生徒や保護者に対する啓発活動を継続して研究することが大切である。今後も各校の取り組みなどの情報交換を行っていきたい。